



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月10日

上場会社名 OUGホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8041 URL <https://www.oug.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋爪 康至
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営基盤グループ担当 (氏名) 山田 稔 TEL 06-4804-3033
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	156,104	11.7	1,790	66.8	1,940	59.6	1,225	56.4
2022年3月期第2四半期	139,778	—	1,073	—	1,215	—	783	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,164百万円 (38.7%) 2022年3月期第2四半期 839百万円 (159.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	220.96	—
2022年3月期第2四半期	141.27	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。
 2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっているため、上記の売上高に係る対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	89,752	24,672	27.5	4,449.57
2022年3月期	78,742	23,841	30.3	4,299.55

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 24,672百万円 2022年3月期 23,841百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310,000	3.8	2,700	△6.2	2,900	△6.2	1,900	41.3	342.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	5,562,292株	2022年3月期	5,562,292株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	17,273株	2022年3月期	17,136株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	5,545,112株	2022年3月期2Q	5,545,634株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、経済活動の回復は徐々に進行しており、所得情勢には回復への足踏みがみられるものの、個人消費、生産活動、設備投資、雇用情勢には持ち直しの動きがみられました。

先行きは、新型コロナウイルス感染症の収束動向や国内外の経済情勢など不透明な状況にあります。

消費者心理は、経済情勢の先行き不透明感や消費者物価の高騰等により厳しい状況にありました。また、消費者購買行動は、厳しい消費者心理を反映し、節約志向が継続しています。

水産物流通業界におきましては、需要動向については、新型コロナウイルス禍からの社会活動の回復が徐々に進み、内食関連需要から外食・宿泊関連需要に一部シフトがみられるものの、内食関連需要は比較的堅調に推移しました。また、インバウンド関連需要や輸出についても回復の兆しがみられました。

また、価格動向については、円安やロシアのウクライナ侵攻の影響によるエネルギー価格の高騰などを反映し、輸入水産物を始め、国内水産物においても調達価格は上昇し、これに呼応して販売価格も全般的に上昇しました。

業界環境としては、価格上昇により需要が減少傾向にある中、業種・業態の垣根を越えた販売競争が繰り広げられるなど、厳しい状況下にありました。

このような環境にあって、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の削減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

また、『OUGグループ中期経営計画2021』（2021年度～2023年度）を実践することにより、バリューチェーンの最適化を意識したグループ役職員の個々の行動変容を通じ、業績を向上させるべく注力してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は156,104百万円(前年同四半期比111.7%)となりました。損益面では、売上総利益は13,864百万円(前年同四半期比108.0%)となり、営業利益1,790百万円(前年同四半期比166.8%)、経常利益1,940百万円(前年同四半期比159.6%)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,225百万円(前年同四半期比156.4%)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、一部外食・中食向け販売に回復傾向が見られる中、内食関連販売も堅調に推移しており、販売価格の上昇により販売数量は減少しましたが、売上高は拡大し、利益面については調達コスト上昇による売上総利益率の低下や販管費の増加から、売上高97,555百万円(前年同四半期比109.2%)、セグメント利益1,388百万円(前年同四半期比86.4%)となりました。

<市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、量販店関連の販売が堅調に推移するとともに、外食・宿泊関連の販売にも回復傾向が見られて業績は改善しましたが、調達コストの上昇や物流経費等増加分の価格転嫁が遅れ、売上高59,635百万円(前年同四半期比115.1%)、セグメント損失41百万円(前年同四半期はセグメント損失700百万円)となりました。

<養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、飼料、資材、燃料費等の値上げによる生産コストの上昇が続く中、販売数量は減少しましたが、販売価格の高値安定が支えとなり、売上高4,112百万円(前年同四半期比119.4%)、セグメント利益503百万円(前年同四半期比260.4%)となりました。

<食品加工事業>

消費地にある食品加工センターでの水産加工、量販店向けの米飯加工、カット野菜加工、飲食事業者向けの加工・調理サービスなどを行う食品加工事業は、輸入原材料の調達コスト高騰による販売数量の減少や生産コスト、販管費の増加により、売上高2,092百万円(前年同四半期比97.2%)、セグメント損失41百万円(前年同四半期はセグメント損失17百万円)となりました。

<物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け・配送を行う物流事業は、配送コストや人件費、光熱費等の増加により、売上高798百万円(前年同四半期比85.5%)、セグメント損失10百万円(前年同四半期はセグメント損失7百万円)となりました。

<その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、売上高1,757百万円(前年同四半期比117.9%)、セグメント損失71百万円(前年同四半期はセグメント損失105百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて11,010百万円増加し、89,752百万円となりました。これは主に、棚卸資産の増加7,604百万円、売上債権の増加2,794百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて10,178百万円増加し、65,079百万円となりました。これは主に、借入金の増加9,010百万円、支払手形及び買掛金の増加1,850百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて831百万円増加し、24,672百万円（自己資本比率27.5%）となりました。これは主に、利益剰余金の増加892百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べて320百万円増加し、2,911百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは7,715百万円の支出（前年同四半期は5,145百万円の支出）となりました。これは主に、仕入債務の増加1,700百万円（前年同四半期は1,174百万円の増加）がありましたが、棚卸資産の増加7,604百万円（前年同四半期は7,826百万円の増加）、売上債権の増加2,794百万円（前年同四半期は585百万円の減少）によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは643百万円の支出（前年同四半期は610百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出474百万円（前年同四半期は445百万円の支出）によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは8,678百万円の収入（前年同四半期は5,653百万円の収入）となりました。これは主に、配当金の支払330百万円（前年同四半期は331百万円の支払）がありましたが、借入金の増加による純収入9,010百万円（前年同四半期は5,987百万円の純収入）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月12日に公表いたしました連結業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,595	2,915
受取手形及び売掛金	28,873	31,668
商品及び製品	27,836	35,369
原材料及び貯蔵品	224	295
その他	893	1,113
貸倒引当金	△90	△99
流動資産合計	60,332	71,262
固定資産		
有形固定資産	10,584	10,681
無形固定資産	656	778
投資その他の資産		
投資有価証券	5,103	4,984
その他	2,365	2,349
貸倒引当金	△299	△304
投資その他の資産合計	7,169	7,029
固定資産合計	18,409	18,489
資産合計	78,742	89,752
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,814	22,665
短期借入金	15,703	25,013
1年内返済予定の長期借入金	4,212	4,134
未払法人税等	918	497
賞与引当金	795	760
その他	3,619	3,484
流動負債合計	46,063	56,555
固定負債		
長期借入金	5,741	5,519
退職給付に係る負債	2,405	2,328
役員退職慰労引当金	128	116
その他	562	558
固定負債合計	8,837	8,523
負債合計	54,900	65,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,495	6,495
資本剰余金	6,090	6,090
利益剰余金	10,252	11,145
自己株式	△42	△42
株主資本合計	22,796	23,688
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,189	1,101
繰延ヘッジ損益	56	108
土地再評価差額金	△447	△447
退職給付に係る調整累計額	247	221
その他の包括利益累計額合計	1,045	984
純資産合計	23,841	24,672
負債純資産合計	78,742	89,752

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	139,778	156,104
売上原価	126,936	142,240
売上総利益	12,842	13,864
販売費及び一般管理費	11,769	12,074
営業利益	1,073	1,790
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	80	99
受取賃貸料	63	88
その他	109	139
営業外収益合計	255	327
営業外費用		
支払利息	84	96
賃貸費用	19	46
貸倒引当金繰入額	—	32
その他	9	1
営業外費用合計	113	177
経常利益	1,215	1,940
特別利益		
受取補償金	29	—
固定資産売却益	7	1
投資有価証券売却益	—	5
特別利益合計	37	6
特別損失		
災害による損失	—	98
投資有価証券評価損	1	—
固定資産売却損	4	—
固定資産除却損	9	1
特別損失合計	14	99
税金等調整前四半期純利益	1,238	1,846
法人税、住民税及び事業税	418	544
法人税等調整額	36	76
法人税等合計	454	621
四半期純利益	783	1,225
親会社株主に帰属する四半期純利益	783	1,225

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	783	1,225
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75	△88
繰延ヘッジ損益	16	52
退職給付に係る調整額	△36	△25
その他の包括利益合計	55	△60
四半期包括利益	839	1,164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	839	1,164
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,238	1,846
減価償却費	470	452
貸倒引当金の増減額(△は減少)	50	13
退職給付に係る資産又は負債の増減額	△87	△133
賞与引当金の増減額(△は減少)	△59	△35
受取利息及び受取配当金	△82	△100
支払利息	84	96
売上債権の増減額(△は増加)	585	△2,794
棚卸資産の増減額(△は増加)	△7,826	△7,604
仕入債務の増減額(△は減少)	1,174	1,700
その他	△333	△197
小計	△4,784	△6,755
利息及び配当金の受取額	82	100
利息の支払額	△84	△100
法人税等の支払額	△359	△960
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,145	△7,715
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△445	△474
投資有価証券の取得による支出	△10	△9
その他	△154	△159
投資活動によるキャッシュ・フロー	△610	△643
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	6,015	9,310
長期借入れによる収入	460	205
長期借入金の返済による支出	△487	△505
配当金の支払額	△331	△330
その他	△3	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,653	8,678
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△103	320
現金及び現金同等物の期首残高	2,064	2,590
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,961	2,911

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	84,567	50,603	2,218	1,050	414	138,854	924	139,778	—	139,778
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,747	1,221	1,225	1,104	519	8,818	565	9,384	△9,384	—
計	89,314	51,824	3,444	2,154	933	147,671	1,490	149,162	△9,384	139,778
セグメント利益 又は損失(△)	1,606	△700	193	△17	△7	1,074	△105	969	103	1,073

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、水産物仲卸事業及び水産物小売事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額103百万円には、セグメント間取引消去413百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△309百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	93,046	57,768	2,619	1,202	266	154,904	1,200	156,104	—	156,104
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,509	1,867	1,492	890	531	9,291	556	9,848	△9,848	—
計	97,555	59,635	4,112	2,092	798	164,195	1,757	165,953	△9,848	156,104
セグメント利益 又は損失(△)	1,388	△41	503	△41	△10	1,798	△71	1,726	63	1,790

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、水産物仲卸事業及び水産物小売事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額63百万円には、セグメント間取引消去429百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△365百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。